

3 Museums Information - Toyota City -

豊田市美術館／豊田市博物館／豊田市民芸館 からのお知らせ

Toyota
Municipal
Museum
of Art

豊田市美術館

豊田市美術館

2025年度、開館30周年を迎える豊田市美術館では下記の展覧会を開催する予定です。夏休みには大人から子どもまで幅広い世代に人気のある印象派巨匠の展覧会、秋には戦後美術をジェンダー視線で読み直す展覧会、年明けには、近年、評価が高まりつつある洋画家の展覧会の開催を予定しています。

2025年度
展覧会(予定)

モネ 睡蓮のとき

2025年6月21日[土]ー9月15日[月・祝]

主催：豊田市美術館、マルモッタン・モネ美術館、中京テレビ放送

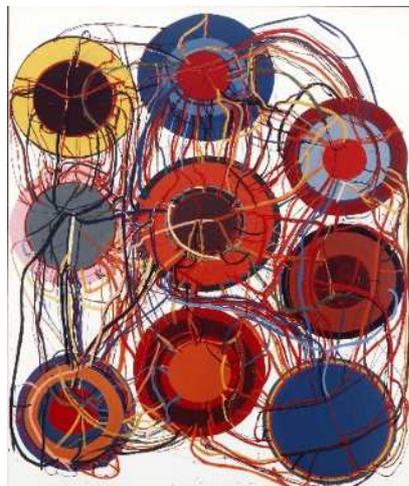


マルモッタン・モネ美術館のコレクション約50点に、国内の所蔵作品を加えて開催するクロード・モネ(1840ー1926年)の回顧展です。日本初公開の作品を含み、晩年の制作を中心として、モネが情熱を注いで造った「水の庭」を描いた最初期の作品群、そして大画面の〈睡蓮〉などを紹介し、印象主義を超えたモネの芸術の豊かな展開を辿ります。

クロード・モネ《睡蓮》1916-1919年頃 油彩／カンヴァス マルモッタン・モネ美術館、パリ © musée Marmottan Monet

アンチ・アクション(仮)

2025年10月4日[土]-11月30日[日](仮) 主催：豊田市美術館

2025年度
展覧会(予定)

1950年代から60年代にかけて、日本では女性作家が前衛美術の領域で大きな注目を集めました。しかし、「アクション」の概念が導入され、男性批評家による男性作家の評価に適用されるようになると、女性作家たちは批評の対象外とされる傾向が強まりました。本展では、こうした女性たちのアクションへの対抗意識を「アンチ・アクション」として見直し、当時の美術の別の姿を描き出します。

田中敦子《Work 1963 B》1963年 豊田市美術館蔵

3 Museums Information - Toyota City -

豊田市美術館／豊田市博物館／豊田市民芸館 からのお知らせ



Toyota
Municipal
Museum
of Art

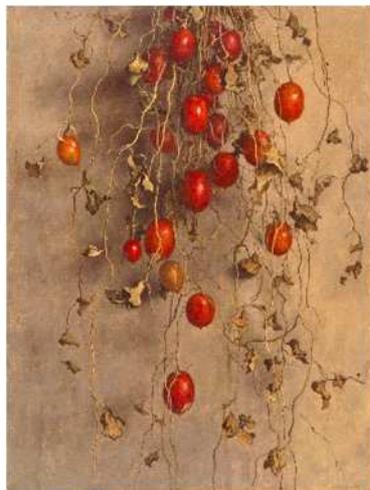
豊田市美術館

豊田市美術館

2025年度
展覧会(予定)

没後 50 年 高島野十郎展

2026 年 1 月 6 日[火]-3 月 15 日[日] 主催：豊田市美術館、毎日新聞社(予定)



高島野十郎《からすうり》1935 年、福岡県立美術館蔵

日本美術史で特異な位置にあり、この 30 年ほどで全国的に知られるようになった洋画家・高島野十郎(1890-1975 年)。「蠟燭」「月」などの特異な主題を独特の写実的な筆致で描いた作品は、観る者の心を静かに震わせ魅了する力を宿しています。

旧制八高出身でありながらも東海地区で初開催の個展であり、過去最大規模の回顧展である本展では、自らの理想と信念にひたすら忠実であり続け、「孤高の画家」と呼ばれた高島野十郎の芸術観を紐解きます。

2025年度
展覧会(予定)

開館 30 周年コレクション展

第1期 2025 年 6 月 21 日[土]-9 月 15 日[月・祝]

第2期 2025 年 10 月 4 日[土]-12 月 21 日[日]

第3期 2026 年 1 月 6 日[土]-3 月 15 日[日]



グスタフ・クリムト《オイゲニア・プリマフェージュの肖像》

1995 年に開館した豊田市美術館は、2025 年に 30 周年を迎えます。長きにわたる活動を振り返りつつ、決して一つに収斂することのない美術の多様な有り様を見つめなおすきっかけとなり、また未来への眼差しを提示できるよう、いくつかのテーマを設定し、コレクション展を 3 期連続して開催します。

また、コレクションに関連した様々な教育事業や子どもを対象としたイベント等を開催します。

